

Shall we ダンス好きなシーン

好きなシーンは若い先生が杉山さんを通じてダンスを励むために、手紙を書くことです。杉山さんがダンス大会で高橋さんのスカートを踏んで、高橋さんに恥をかかせて、全部自分のせいだと思って、ダンスをやめるつもりです。手紙の中で、若い先生が杉山さんのことを感謝します。自分も杉山さんと同じのようなダンス大会に参加して、ダンスの途中で転んだ。一度ダンスをやめて、(直到)杉山さんが来てから、ダンス大会のために若い先生が杉山さんと高橋さんを指導するとともに、若い先生の考え方も変えてきました。いつも自分は一人でダンスすることを知っていた。パートナーのことは (never) 信じなかった。杉山さんのダンスから見て、(only if you...)素晴らしいダンスをしたいなら、パートナーのことを信じて、ダンスのことをゆっくり楽しむことしかありません。このシーンが好きな理由は、若い先生がもともとの自信が見つかることが感動します。とうとう心理的な障害を面して超えて、素晴らしいです。

就職制度

台湾の就職制度について述べたいです。まず、大学4年生の時は就活時期です。一般的な大学生は卒業の半年前くらいからとか卒業後で就職活動を始める。男性は兵役に服する必要ですから、女性より一年遅れて、就職し始める。大手と外資企業の内定時期は大学4年の5月から6月までです。入社日は7月1日です。多くの中小企業では研修は必要ではない。仕事をしながら覚えます。企業を探す方法は、チラシと求人サイトですけど、学生だけに向けたものはあまりないです。内定または入社までの流れは、まずはチラシ又は求人サイトで企業を探して、それから、履歴書送付して、それに筆記試験と面接を受けて、合格してから、入社することができます。メリットは台湾の就活時期は大学4年生の時と4年生を卒業したですから、4年生は授業が少ないですから、多い時間ができます。ですから、明け暮れて就職することを準備することができます。十分な資料や企業についてのインフォメーションをよく調べることができて、面接に向けてちゃんと準備することができます。デメリットは研修必要がないなら、卒業したばかりの学生は、あまり十分な経験がないですから、会社に入って仕事をしながら覚えることは大変だと思います。いくつかの誤りをするかもしれない、企業

に対してよくないです。ですから、会社は人を雇うですけど、ほかの時間を作って、新人を教えなければならぬなら、時間がすごいかかるだと思います。

ステレオタイプ

性別ステレオタイプについて述べたいです。男の子といえば、ロボット模型を遊んで、もし人形とままごとを遊ぶなら、人に笑われます。それは女の子の玩具だと言われます。それから、女性は女性の様子を持ったなければならない。女性は行儀が良くて、優しいはずです。もし、仕草がぞんざいなら、男っぽいと言われます。男性は泣くことはだめです。感情を抑えなければならない、強い気持ちを持ったなければならない。男性は外で働いて、女性は家で、家庭主婦として、家事をするはずです。以上を述べた点はよくいわれることですが、それは、ちょっと違うと思います。今では、一般的に男性向けの仕事は女性もできます。例えば、バスとタクシーの運転手は女性もいます。デパートに行って、コスメのところで、男性スタッフもいます。朝日新聞によると、病院の枠を超えた男性看護師たちの交流が広がっている。今も男女分担で仕事をするニュースが増えています。それから、男性向けのクラスも行います。たとえば、

男性向け料理講座、離乳食講座、父子でのスイーツ作り講座

- 収納講座、掃除講座などの家事講座
- 夫婦で家事をシェアするためのワークショップ
- 専業・兼業主夫によるロールモデルの発信

です。

今女性の大統領とリーダーになる人数も多くなります。